

プレスリリース

ソニー教育財団 2025 年度「教育助成論文」入選発表
学校・園、教員へ教育助成金とソニー製品を贈呈
優れた教育・保育の実践を論文や授業・保育公開を通じ広く発信

公益財団法人 ソニー教育財団（会長 根本章二）は、毎年 8 月に小学校・中学校、幼稚園・保育所・認定こども園および小学校・中学校の教員から論文を募集し、優れた研究と実践に対して、教育助成金とソニー製品等を贈呈しています。本事業は、1959 年にソニー創業者の井深大がはじめた活動で、教育・保育の質の向上と、未来を生きる子どもたちの主体性や感性、創造性の芽である「科学する心」の育みを願い、65 年以上継続して行っています。

論文には「教育実践論文」「保育実践論文」「未来へつなぐ教育計画」の 3 種類あり、2025 年度は全国から合わせて 297 件のご応募をいただきました。厳選なる審査と、上位候補校・園の現地を訪問しての調査を経て、下記の通り入選論文を発表いたします。

全国の学校・園で実際に行われている素晴らしい実践と、熱意溢れる教員・保育者の姿や子どもたちへの思いを、受賞論文を通じて広くご紹介するとともに、2026 年度には下記受賞校・園にて、授業・保育公開および研究発表を実施予定です。入選校・園・入選者の一覧、論文 PDF や審査講評等は下記 URL からご覧いただけます。

◆ソニー教育財団 2025 年度入選発表 <https://www.sony-ef.or.jp/program/>

教育実践論文<小・中学校対象> テーマ：「科学が好きな子どもを育てる」教育実践と計画

最優秀校 2 校 各助成金 300 万円とソニー製品

郡山市立明健小学校（福島県）

自ら自然に働きかけ、自ら科学を学ぶ
意義や価値を創り出すやさしい子どもの育成
— Slow Pedagogy —



刈谷市立朝日中学校（愛知県）

科学が好きな生徒を育む朝日中プロジェクト 2025
～生徒と教師がともに主体的に考え、
判断・行動し、成長していく学校を目指して～



※上記の他、優秀校 10 校、奨励校 34 校、奨励校教育みらい賞 2 校を選出

保育実践論文<幼稚園・保育所・認定こども園対象> テーマ：「科学する心を育てる」～豊かな感性と創造性の芽生えを育む～

最優秀園 2 園 各助成金 300 万円とソニー製品

**学校法人仙台みどり学園
認定こども園みどりの森（宮城県）**

自然から生み出す「ものづくり」の喜びが
もたらす科学する心の芽生えとは
～縄文に魅せられた子どもたち～



**社会福祉法人城崎こども園
城崎こども園（兵庫県）**

「はじめての発見が生まれるとき」
～0・1 歳児が五感で味わう
身近な環境との出会い～



※上記の他、優秀園 9 園、奨励園 65 園、奨励園保育みらい賞 3 園を選出

未来へつなぐ教育計画<小・中学校の教員対象>テーマ:未来を担う子どもたちに必要な資質・能力を育む

入選者 10名(敬称略) 各助成金 10万円とソニー製品

風間 貴大	さいたま市立大宮国際中等教育学校(埼玉県)
神原 真人	旭市立飯岡中学校(千葉県)
寺尾 志穂	横浜市立本郷特別支援学校(神奈川県)
金子 紅里	国立大学法人新潟大学附属新潟小学校(新潟県)
今井 奈奈	田上町立田上中学校(新潟県)
都築 卓朗	刈谷市立朝日中学校(愛知県)
前田 昌志	松阪市立米ノ庄小学校(三重県)
西澤 寛奈	京都市立朱雀第二小学校(京都府)
藤本 幸弥	国立大学法人熊本大学教育学部附属中学校(熊本県)
杉田 浩子	宮崎市立清武小学校(宮崎県)

2025年度 論文応募概要

募集期間: 2025年8月1日(金)~9月2日(火)

応募方法: ソニー教育財団ウェブサイトのフォームより

応募総数: 297件

◆「教育実践論文」 小学校・中学校対象【全教科等】

[論文テーマ]「科学が好きな子どもを育てる」

[助成内容] 最優秀校 300万円・優秀校 50万円・奨励校 10万円・奨励校教育みらい賞 15万円 の教育助成金とソニー製品等、さらに全応募校にソニー製品等

[審査委員長] 杉野 剛 独立行政法人日本学術振興会 理事長

[審査委員] 清原 洋一 学校法人秀明学園 秀明大学 教授、熊平 美香 一般財団法人クマヒラ

セキュリティ財団 代表理事、手代木 英彦 ソニーグループ(株) 社友、

山下 修一 国立大学法人千葉大学 教授

◆「保育実践論文」 幼稚園・保育所・認定こども園対象

[論文テーマ]「科学する心を育てる」 ~豊かな感性と創造性の芽生えを育む~

[助成内容] 最優秀園 300万円・優秀園 50万円・奨励園 10万円・奨励園保育みらい賞 15万円 の教育助成金とソニー製品等、さらに全応募園にソニー製品等

[審査委員長] 安井 正人 慶應義塾大学 教授

[審査委員] 秋田 喜代美 学習院大学 教授、安梅 勅江 筑波大学 教授、大豆生田 啓友 玉川大学 教授、

河合 優子 聖徳大学 教授、島田 啓一郎 ソニーグループ(株) 社友

◆「未来へつなぐ教育計画」 小学校・中学校の教員個人対象【全教科等】

[論文テーマ]「未来を担う子どもたちに必要な資質・能力を育む」

[助成内容] 入選 10万円の研究助成金、さらに全応募者にソニー製品等

[審査委員長][審査委員] 教育実践論文の審査を兼ねる

2025年度 ソニー教育助成 贈呈式開催(予定)

最優秀校・園および優秀校・園の先生方、未来へつなぐ教育計画の入選者、文部科学省、こども家庭庁をはじめとするご来賓のみなさまをお迎えし、贈呈式を開催いたします。取材にお越しいただける場合は、下記お問合せ先までご連絡ください。

※一般の方はご参加いただけません。

◇ 日時: 2026年1月24日(土) 14:30~17:00

◇ 場所: ソニーグループ株式会社本社(東京都港区港南 1-7-1)



前年度の贈呈式の様子

公益財団法人 ソニー教育財団 —65 年以上に亘るソニーの教育助成—

ソニー創業者 井深大は、次世代を担う子どもたちの科学教育の充実のため、1959 年に学校への「ソニー理科教育振興資金」の助成活動を開始しました。その後、井深の関心は乳幼児期の教育と人の心を育てることの大切さへと広がり、1969 年に「幼児開発協会」を設立しました。井深の志を受け継ぐこれらの事業を継続的に発展させるため「ソニー教育財団」となり、現在はおもに乳幼児期から高校生までの「科学する心を育てる」「科学が好きな子どもを育てる」ことを柱にした教育助成を行っています。不確実な時代を生きる子どもたちが、どのような困難にも好奇心と信念をもって立ち向かい、明るい未来を切り拓いていけるよう、子どもたちの「科学する心」を育む環境づくりを応援しています。



ソニー創業者 井深大

※ソニー教育財団が考える「科学する心」とは

<https://www.sony-ef.or.jp/kagakukokoronet/pdf/kagakusurukokoro.pdf>

- 名称：公益財団法人 ソニー教育財団
- 会長：根本 章二
- 所在地：東京都品川区北品川 4-2-1
- 電話番号：TEL:03-3442-1005
- 公式ウェブサイト：<https://www.sony-ef.or.jp/>

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

公益財団法人 ソニー教育財団（担当：山下）E-mail:Toshiko.Yamashita@sony.com